



●この説明書は、必ず組立てされる方にお渡しく下さい。

■組立てされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …組立てを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

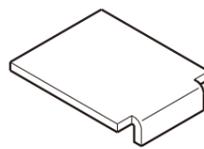
●戸先下がり調整金具は、必ずリケイ紙をはがしてグレイジングチャンネルに張付けてください。調整金具が取付けられていない場合は、調整時にガラスを破損することがあります。

■組立て上のお願い

- 戸先下がり調整金具は、上下棧、縦框を組立てる前に必ず取付けてください。
- 障子の組立ておよび取付けは、別途本体の「組立て説明書」をご覧ください。
- 障子組立てねじは、 $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ }のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

■使用部品一覧表

戸先下がり調整金具



■戸先下がり調整金具の張付け

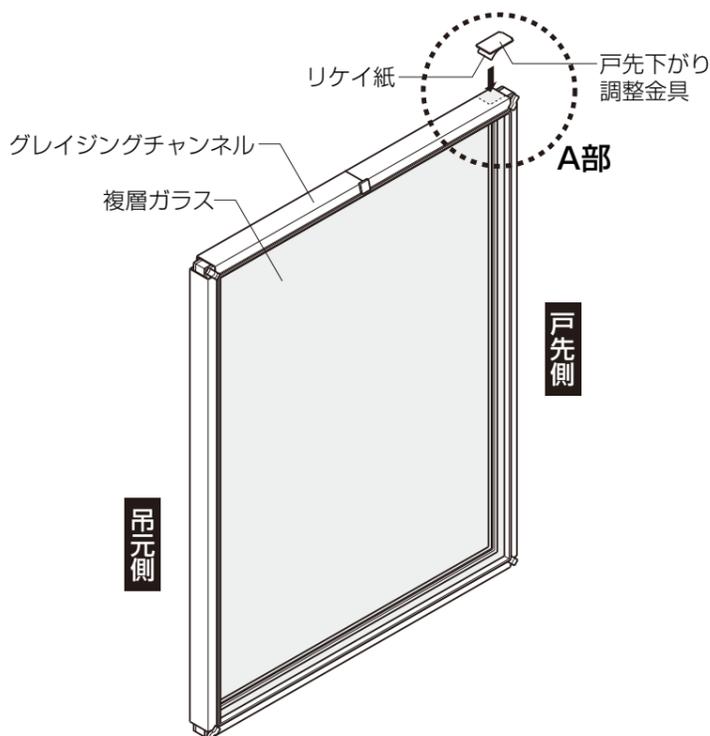
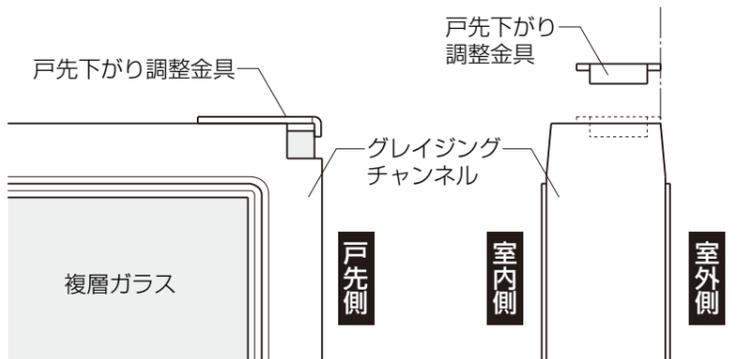
●戸先下がり調整金具に付いているリケイ紙をはがして、戸先側上部のグレイジングチャンネルの上から部品を張付けます。

▲注意

●戸先下がり調整金具は、必ずリケイ紙をはがしてグレイジングチャンネルに張付けてください。調整金具が取付けられていない場合は、調整時にガラスを破損することがあります。

■A部詳細図

※右図のように室外側に合わせて、戸先側上部のグレイジングチャンネルの角と戸先下がり調整金具の角を合わせるように張付けてください。



■障子の調整方法

●施工後、障子に戸先下がりが見られる場合は障子を開き、戸先側の上棧上部からドライバーでねじを回して、障子が水平になるように調整してください。ねじを右回転(時計回り)させると障子の戸先が上がります。

●お願い

- ※ねじは抜け止めがないため、ねじを左回転(反時計回り)させる場合は注意してください。
- ※戸先下がりが起こっていない状態では本説明書の調整は行わないでください。上棧が変形するおそれがあります。

※ガラス出来寸法やサッシの施工状態により調整量が大きい場合には、上棧からグレイジングチャンネルが浮く場合があります。その際は、必要以上の調整は行わないでください。

■B部詳細図

